〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

10月号
第61巻 第9号
2016年

無料
Free

もくじ

今月の１枚 …… １ページ
・企画展関連行事「写真家の視点・研究者の視点から
　― ライチョウの魅力にせまる ―　高橋広平・小林篤対談」を開催
イベントのご案内 …… ２ページ
・山の歴史ウォーキング 体感！ 山岳文化都市おおまち 木崎湖編
博物館のひろば …… ３～４ページ
・出張講座 児童クラブ、友の会サークル「山岳文化研究会」研修
・企画展ミュージアムトーク「鹿島槍ヶ岳カクネ里　氷河への道のり」ほか

博物館施設案内はこちら

ゴミは共通のキーワードでした

企画展関連行事　「写真家の視点・研究者の視点から ― ライチョウの魅力にせまる ―　高橋広平・小林篤対談」を開催

千葉　悟志

企画展「雷鳥～四季を纏う神の鳥～高橋広平写真展」に伴うイベント「写真家の視点・研究者の視点からライチョウの魅力にせまる」を開催しました。

山岳博物館では、これまでに大町山岳博物館友の会と共催で、「親子でライチョウ観察ツアー（H25）」・「茶臼山動物園でライチョウを観察してみよう！（H26）」・「冬のライチョウを見に行こう！（H27）」・「爺ヶ岳でライチョウを観察しよう（H27）」を開催し、地域の皆さまはもとより、遠くは京都府や東京都、新潟県からもご参加いただきました。

そこでは、多くの方が現在、また未来の日本の高山環境について、ライチョウを知ることで学んでいただけたのではないかと思います。

この度のイベントも山博友の会との共催とし、雷鳥写真家の高橋広平さんとライチョウの域外保全に活躍されている鳥類研究者の小林篤さん（東邦大学訪問研究員）の対談を企画いたしました。

若い二人であれば、違った感覚をお持ちで、またそれぞれの立場、異なる分野からお話をお聞きすることで、参加者がライチョウについて新たな視点や考えを得ることができ、高山環境についてより深く理解していただけるのではないかと考えたからです。

当日は、コーディネータを宮野典夫 山岳博物館指導員が務め、両者の緊張をほぐしながら考えや意見を引き出し、また、会場を彩った高橋さんの作品が会場に臨場感を与え、参加者も自然と耳を傾け、それぞれの世界に引き込まれていったものと思われます。

参加された皆さまにおかれましては、有意義な時間をすごしていただけたのではないでしょうか。

お二人のこれからの活躍に期待を寄せたいと思います。

（市立大町山岳博物館学芸員）

イベントのご案内

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご覧いただけます）。10月は15日（土）と16日（日）です。

山岳博物館・博物館友の会共催事業
「山の歴史ウォーキング　体感！山岳文化都市おおまち　－木崎湖編－」

風光明媚な湖と里山に囲まれて暮らす木崎湖周辺の集落は、湖や山々から大きな恵みをいただいて、歴史や文化が育まれてきました。今回の山の歴史ウォーキングでは、木崎湖の周辺に残された史跡などを博物館学芸員とともに巡ります。夏期大学から反時計回りに木崎湖周囲約8.5㎞を歩きながら一周し、自然の豊かさや歴史の魅力を体感します。

■日　時　10月30日（日）　午前９時～午後３時頃　雨天順延

■行　程　信濃木崎夏期大学北側駐車場集合→西丸震哉記念館→あべっと祠→海の口のアカマツ→中部農具川（カワシンジュガイ）→上諏訪神社（銅戈・ヒカリゴケ）→森城址（昼食）→木崎湖温泉→夏期大学にて解散

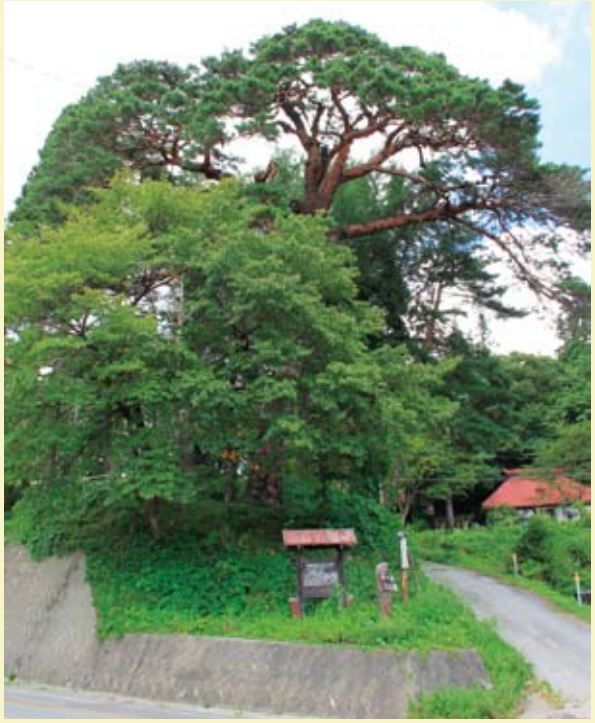
■定　員　先着20人

■費　用　500円（保険代ほか）、友の会会員は無料

■持ち物　昼食、飲み物、雨具、筆記用具

■申し込み　10月13日（木）までに、電話、ファックスまたは直接、山岳博物館へ。（ファックスの場合は、住所・氏名・電話番号を記載）

■問い合わせ　大町山岳博物館
TEL・有線 22－0211　FAX 21－2133



海の口のアカマツ

豊田庸園著『善光寺道名所図会』(1849)
木崎湖から森城址を望む

博物館のひろば

「山の日」関連の各種講演会への講師派遣

池田町図書館　7月20日（水）実施
安曇野市教育委員会 7月28日（木）実施
安曇野市明科図書館 8月6日（土）実施

平成28年7～8月の間、各種機関等が主催する「山の日」関連の講演会に、当館学芸員を講師として派遣しました。

池田町図書館で開催された同館主催「山の日」講演会では「山の魅力と登山の歴史」（参加者約15人）、豊科交流学習センターきぼうで開催された安曇野市教育委員会主催・安曇野検定準備講座③山の日制定記念講演会（参加者約65人）では「北アルプス登山道開拓者たち」、明科子どもと大人の交流学習施設ひまわりで開催された明科図書館ひまわり講座③地域の歴史を学ぶ（参加者約30人）では「播隆上人と槍ヶ岳開山」と題し、それぞれの講演を行いました。

より広い方々に、当館の常設展示や過去に開催した企画展に関わる山岳文化史の一端を知っていただく大変良い機会となりました。　【写真提供：明科図書館】

市立大町図書館「山の日」関連の山岳資料の展示と山岳資料の貸出

平成28年8月6日（土）～28日（日）実施

本年度より国の祝日となった8月11日の「山の日」にあわせて市立大町図書館では、「山岳特集」と銘打って、大町山岳博物館が所蔵する山岳関連の書籍やかつての登山をイメージさせる昭和前半期のピッケルやキスリング、山岳画などもあわせて展示し、来場者に山に対する楽しさとともに、多くの山岳図書を通じて山への理解を深めるきっかけになりました。

大町図書館での展示にあたっては、池田町の高瀬中学校の4人の生徒の皆さんが職業体験の一環として、約4万冊の山岳資料を所蔵する山岳図書資料館に来館され、たくさんの本の中から、図書館に並べ展示する国内外の山岳図書を選定し、図書館での飾りつけも体験する機会となりました。

山岳博物館友の会サークル「山岳文化研究会」研修事業

平成28年8月11日（木・祝）実施

山岳文化研究会では、年1回、山岳文化史にかかわるフィールドを現地見学するなどの研修事業を実施して、会全体として研鑽の機会を設けています。

今回は、今年施行の国民の祝日「山の日」を記念し、「第 1 回山の日記念全国大会」が上高地で開催されるのに合わせ、上高地周辺を散策しました。参加者は会員・事務局員あわせて9人。マイカーによる交通混雑を予想し、鉄道とバスを乗り継いで上高地へ向かいました。探訪コースは、大正池～ウェストン園地～河童橋～明神池・嘉門次小屋。嘉門次小屋では、国登録有形文化財に指定されている囲炉裏の間を見学しました。途中、記念全国大会の式典にご参加された皇太子殿下ご一家のお姿を拝見する機会もあり、上高地での華やかな「山の日」元年当日の雰囲気を満喫して帰路に着きました。

出張講座　「学芸員さんのお話を聞く会」（八坂児童クラブ）&「身近な野生動物とのつきあい方」（美麻児童クラブ）

平成28年8月9日（火）実施・8月22日（月）実施

夏休み期間中、児童クラブ参加者の小学生を対象に話をしてほしいとの依頼を受け、大町市立八坂小学校内の八坂小児童クラブ及び美麻情報センター内の美麻児童クラブで学芸員による出張講座を実施しました。

八坂児童クラブへは3年連続で出向いてお話をさせていただいており、今年は初めに博物館を紹介し、次に実際の登山で使用するリュックサックを背負う体験を行いました。後半はライチョウの生態や本年度に当館付属園で孵化したライチョウの雛について、豊富な写真や動画を交えて説明しました。実際に山に登り、ライチョウを見てみたいという声も聞かれました。

美麻児童クラブでは、近頃のクマの頻繁な出没に伴い、日ごろの屋外活動の安全につながるようなテーマでの依頼がありました。実際のツキノワグマの剥製を使用しながら、出会わないための工夫や出会ってしまった時の対処法などをクイズを交えながら解説しました。

どちらの講座でも児童の皆さんが意欲的に聞き、多くの質問をしてくださったことから、今後の学習へつながる講座となったのではないかと感じました。

企画展ミュージアムトーク「鹿島槍ヶ岳カクネ里　氷河への道のり」

平成28年8月11日（木・祝）実施

国民の祝日「山の日」のスタートの年に最もふさわしいニュースは「鹿島槍ヶ岳カクネ里に氷河が…」であると自負しつつ、会期中最終回となるミュージアムトークが、当館の顧問でありカクネ里学術調査団団長の小坂共栄氏を迎え全国「山の日」に開催されました。

「『山の日』を契機に山からの経済的恩恵を求める方もおいでのようですが、本邦には存在しないとされていた氷河が、小規模ながらも大町で発見となりそうなことを山からの恩恵と捉え感謝する。」との声も。

そんな方々から足を運んでいただいたミュージアムトークだったと思っています。

博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

理科専科教員の教育研究集会に伴う博物館見学と連携授業に関する協議

平成28年８月27日（土）実施

仁科台中学校で開催された北安曇郡内理科専科教員の教育研究集会につづいて、山岳博物館で、施設見学ならびに連携授業などについての協議が行われました。

施設見学では、２階の生物・地学コーナーをご覧いただき、授業連携が可能な単元や活用できそうな展示内容を紹介しました。

協議では、山岳博物館からの出前授業や自然観察へのいっそうの協力が要望されました。また、生徒の多様な興味を深め、広い視野を養うために、博物館での授業も重要であるとの意見がだされました。

登山史資料集発行に向けた現地調査（爺ヶ岳～針ノ木岳～七倉岳周辺）

平成28年８月30日（火）～９月２日（金）実施

山岳博物館では、後立山連峰を中心とした北アルプスの登山史にかかわる文献資料を収録した資料集を、これまでに平成22年度（第１集・鹿島槍ヶ岳周辺の登山史）と平成24年度（第２集・白馬岳周辺の登山史）と２回にわたって発行してきました。平成28年度、それらの完結編として、黒部川側からの登山史と後立山南部地域登山史に関する文献資料を収録した資料集（第３集）を発刊する予定です。この資料集発行に向け、関係する山域の記録調査を今年２回にわたり実施する計画を進めています。今回は、後立山南部地域へ出向きました。資料集でとりあげる山域の現地調査を行い、現地の様子を確認して撮影記録することで、資料集の巻頭に掲載する参考写真に供します。

企画展「雷鳥」ミュージアムトーク

平成28年９月３日（土）実施

企画展「雷鳥～四季を纏う神の鳥～高橋広平写真展」の初日に作者の高橋広平さん（雷鳥写真家）によるミュージアムトークを午前（10時～）と午後（２時～）の２回、各40分開催しました。

ライチョウの生態や自らがどのようにライチョウと向き合っているのかを聞きながら、参加者との軽妙なやり取りもあり、終始和やかな雰囲気で行われました。

このミュージアムトークは、11月３日（木・祝）にも同時間帯で開催しますので、是非、博物館へ足を運んでいただきますようお願い申しあげます。

花めぐり紀行　第１回高山植物実生観察会

平成28年９月４日（日）実施

山岳博物館では、NPO法人 白山高山植物研究会より種子や実生の提供を得て、高山植物の生活史を中心とした研究を行っています。

この度は、山博友の会サークル「花めぐり紀行」の勉強会に植物担当学芸員を講師として派遣しました。

博物館で育てている高山植物を実際に見たり、ヨツバシオガマ（写真）とエゾシオガマの実生の形態を写真で見比べてみたりして違いを説明しました。

また、現地（高山）では、どのような観察を行っているのか、パワーポイントを用いて紹介しました。

学校との連携授業（理科授業）「地層を見に行こう！」美麻小中学校6･7年生（20人）

平成28年９月６日（火）実施

美麻小中学校との連携授業が大町スキー場で行われました。学習したのは、立山火山が約 10 万年前に噴火したときにふりつもった軽石層など数枚の地層です。

崖をのぼって地層を観察し、地層の重なりをスケッチして、地層ができた順番を明らかにしました。

さらに軽石層を採集し、押し洗いして、含まれている鉱物結晶を取り出しました。この鉱物は、次の授業で実体顕微鏡を使って種類を調べる材料となります。

このような野外学習は、理科学習の大切な要素の１つと思われます。連携授業の一層の拡大・充実が期待されます。

市内中学校職業体験学習 大町市立仁科台中学校２年生

平成28年９月８日（木）～９日（金）

山岳博物館では、中学生や高校生を中心に職業体験学習の受け入れを実施し、地域における社会教育施設として、学校教育におけるキャリア教育推進に協力しています。

この度は、仁科台中学校２年生２人が２日間の職業体験学習を行いました。飼育員にアドバイスをもらいながら動物たちへの餌の調理・給餌、飼育舎の清掃、園内の整備という通常業務を一通り体験していただきました。

普段は行わない動物を相手にした体験学習ということもあり、仕事の大変さも分かっていただけたと思います。今回の体験をこれからの進路の参考にしていただければ幸いです。

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM
— 創立 1951 年 —

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

10月号
第 61 巻 第９号
2016 年

発行日　2016（平成 28）年９月 25 日

印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030 FAX.0261-23-2010